

# 令和7年度 第21回埼玉県障害者技能競技大会

## ＜ビルクリーニング事前公表課題＞

### ◎一般的な注意事項

#### [共通事項]

1. 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。

競技は、まず、課題1の「カーペット床清掃」を、2人の選手が同時に別々のコートを使用して競技を行い、選手全員の競技が終了した後、休憩をし、その後、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」を、同様に競技していきます。

2. どちらの課題も、作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画しますので、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。

3. 作業場所にある机は、移動しないでください。また、課題の実施のため、椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。

4. 選手は競技に適した服装をしてください。

5. 2課題で使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。

6. 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行います。選手は、挙手又は「はじめます」と申告して、2(A・B)コート同時に競技を始めてください。競技が終了したら挙手又は「終わりました」と申告してください。

なお、始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

また、「はじめます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。

7. 作業ごとの入退出を行なう際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。また、競技は2選手が同時に行いますので、入退室の挨拶等は同時にならないよう配慮してください。

8. 2課題<sup>かだい</sup>とも、標準<sup>ひょうじゆん</sup>作業時間<sup>さぎようじかん</sup>が定められています。

課題1<sup>かだい</sup>： 7分<sup>ふん</sup> で打ち切り

課題2<sup>かだい</sup>： 10分<sup>ふん</sup> で打ち切り

なお、両課題<sup>りやうかだい</sup>とも作業中<sup>さぎようちゆう</sup>に残り時間<sup>のこじかん</sup>が2分となった時点で経過時間<sup>じてんけいかじかん</sup>をお知らせします。

また、規定時間<sup>きていじかん</sup>を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者<sup>うきき</sup>は、競技委員<sup>きようぎいいん</sup>の指示<sup>しじ</sup>に従<sup>したが</sup>ってください。

9. 競技採点<sup>きようぎさいてん</sup>は、作業準備<sup>さぎようじゆんび</sup>、作業動作<sup>さぎようどうさ</sup>（手順<sup>てじゆん</sup>）、仕様誤り<sup>しやうあやまり</sup>、作業態度<sup>さぎようたいど</sup>、作業時間<sup>さぎようじかん</sup>の5面<sup>めん</sup>から審査<sup>しんさ</sup>し、加点方式<sup>かてんほうしき</sup>により採点<sup>さいてん</sup>を行います。

### ◎課題1<sup>かだい</sup>：カーペット床清掃<sup>ゆかせいそう</sup>

1. 床<sup>ゆか</sup>の材質<sup>ざいしつ</sup>は、繊維系<sup>せんいけい</sup>の床面<sup>ゆかめん</sup>とします。
2. 作業<sup>さぎよう</sup>は、掃除機<sup>そうじき</sup>によるカーペット床<sup>ゆか</sup>の吸塵<sup>きゆうじん</sup>作業<sup>さぎよう</sup>です。
3. 床<sup>ゆか</sup>のゴミは、シュレッターで裁断<sup>さいだん</sup>した紙<sup>かみ</sup>を50mℓ程度<sup>ていど</sup>まいたものとします。
4. 選手<sup>せんしゆ</sup>は（資機材<sup>しきざい</sup>）掃除機<sup>そうじき</sup>を保管所<sup>ほかんじよ</sup>から作業近く<sup>さぎようちかく</sup>へ移動<sup>いどう</sup>し、コードをはずし、プラグをコンセント<sup>きんせんと</sup>に差し込み<sup>さしこみ</sup>、始動点検<sup>しどうてんけん</sup>を行います。
5. 作業中<sup>さぎようちゆう</sup>、掃除機本体<sup>そうじきほんたい</sup>は手で持<sup>て</sup>って移動<sup>いどう</sup>してください。
6. 清掃後<sup>せいそうご</sup>、プラグを持<sup>も</sup>ってコンセントから抜き取り<sup>ぬきとり</sup>、掃除機<sup>そうじき</sup>のコードを巻<sup>ま</sup>いて、もとの通り<sup>とお</sup>の保管場所<sup>ほかんばしよ</sup>に戻<sup>もど</sup>ります。

### ◎課題2<sup>かだい</sup>：弾性床清掃<sup>だんせいゆかせいそう</sup>及び机上清掃<sup>きじやうせいそう</sup>

1. 床材質<sup>ゆかざいしつ</sup>は、塩化ビニール系<sup>えんか</sup>の弾性床面<sup>けいだんせいゆかめん</sup>とします。
2. 作業<sup>さぎよう</sup>は、ゴミ処理<sup>しより</sup>・床面<sup>ゆかめん</sup>の掃き<sup>ほ</sup>・拭き<sup>ふ</sup>作業<sup>さぎよう</sup>及び机上拭き<sup>きじやうふき</sup>の作業<sup>さぎよう</sup>です。
3. 床<sup>ゆか</sup>のゴミは「おがくず」とし50mℓ程度<sup>ていど</sup>をまいたものとします。
4. 本課題<sup>ほんかだい</sup>で使用する資機材<sup>しきざい</sup>や消耗品<sup>しょうもうひん</sup>は、作業カート<sup>さぎよう</sup>に載<sup>の</sup>せてありますので、不足<sup>ふそく</sup>するものがないかを点検<sup>てんけん</sup>して使用<sup>しやう</sup>してください。

5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に選手自身が操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは、選手自身が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
7. クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップ柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技前にセットしてください。

## ◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

### (1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型リンレイRD エコ 2 型	1 台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

### (2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 脚	
ラーグ (モップ房)	260 g 白色	1 個	
小型ぼうき	30 cm幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 cm	1 個	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	

タオル	無 <sup>む</sup> 地 <sup>じ</sup> 水 <sup>み</sup> 拭 <sup>ず</sup> き <sup>き</sup> 用 <sup>よう</sup> （青 <sup>あ</sup> 色 <sup>いろ</sup> ） 1枚 <sup>まい</sup> 無 <sup>む</sup> 地 <sup>じ</sup> から <sup>か</sup> ら <sup>ら</sup> 拭 <sup>ふ</sup> き <sup>き</sup> 用 <sup>よう</sup> （白 <sup>は</sup> 色 <sup>いろ</sup> ） 1枚 <sup>まい</sup>	2枚 <sup>まい</sup>	
ダスタークロス	69 cm幅 <sup>はば</sup> の不 <sup>ふ</sup> 織 <sup>しよく</sup> 布 <sup>ふ</sup>	1枚 <sup>まい</sup>	
ビニール <sup>ぶくろ</sup> 袋 <sup>ふくろ</sup>	ゴミ <sup>ぼ</sup> 箱 <sup>こ</sup> 用 <sup>よう</sup> 替 <sup>か</sup> 袋 <sup>ふくろ</sup>	1枚 <sup>まい</sup>	
つくえ 机	ビルク <sup>ぎのう</sup> リー <sup>けん</sup> ニ <sup>てい</sup> ング <sup>い</sup> 技 <sup>し</sup> 能 <sup>ぎ</sup> 検 <sup>ぎ</sup> 定 <sup>ぎ</sup> 資 <sup>じ</sup> 機 <sup>ぎ</sup> 材 <sup>ざい</sup> に <sup>じゆん</sup> 準 <sup>きよ</sup> 拠 <sup>きよ</sup>	1台 <sup>だい</sup>	
イス	パイ <sup>しき</sup> プ <sup>お</sup> 式 <sup>しき</sup> 折 <sup>お</sup> り <sup>しき</sup> た <sup>お</sup> た <sup>しき</sup> み	1脚 <sup>きやく</sup>	
ゴミ <sup>ぼ</sup> 箱 <sup>こ</sup>	か <sup>か</sup> く <sup>か</sup> が <sup>か</sup> た <sup>か</sup> 角 <sup>かく</sup> 型 <sup>がた</sup>	1個 <sup>こ</sup>	

## 2. 選手<sup>せんしゆ</sup>が持<sup>じ</sup>参<sup>さん</sup>するもの

ひんめい 品名	すんぽうまた きかく 寸法又は規格	すうりよう 数量	びこう 備考
さぎょう ぎ 作 <sup>う</sup> 業 <sup>え</sup> 着 <sup>した</sup> （上・下）	さぎょう 作 <sup>う</sup> 業 <sup>え</sup> し <sup>した</sup> や <sup>した</sup> す <sup>した</sup> い <sup>した</sup> もの	1 着 <sup>ちやく</sup>	
さぎょう ぼうまた さんかくきん 作 <sup>う</sup> 業 <sup>え</sup> 帽 <sup>ぼう</sup> 又 <sup>また</sup> は <sup>さん</sup> 三 <sup>さん</sup> 角 <sup>かく</sup> 巾 <sup>きん</sup>		1 個 <sup>こ</sup>	
さぎょう ぐつ 作 <sup>う</sup> 業 <sup>え</sup> 靴 <sup>ぐつ</sup>		1 足 <sup>そく</sup>	

（注意）選手<sup>せんしゆ</sup>が持<sup>じ</sup>参<sup>さん</sup>するものは、上<sup>じやう</sup>記<sup>き</sup>の<sup>か</sup>もの<sup>ぎる</sup>に<sup>ど</sup>う<sup>い</sup>つ<sup>し</sup>し<sup>ゆ</sup>る<sup>い</sup>い<sup>もの</sup>を<sup>よ</sup>予<sup>び</sup>備<sup>び</sup>として持<sup>じ</sup>参<sup>さん</sup>することは  
 差<sup>さ</sup>し<sup>つか</sup>支<sup>つか</sup>え<sup>え</sup>ない。

課題1 カーペット床清掃（標準作業時間7分）

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている（必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと）。</li> <li>掃除機のウォンドと吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。</li> <li>作業標示版は既に所定の位置に立ててある。</li> </ul>	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査委員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、一礼する。	作業開始を申告。声を出すことが困難な場合は拳手のみで構いません。
作業準備	掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	声を出すことが困難な場合は一礼のみで構いません。
吸塵作業（掃除機）	①真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、入室する。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う（室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり）。 ③ゴミ箱は移動して吸塵する。 ④椅子を手前に引き出し、机の下での吸塵を行い、元にもどす。 ⑤前進しながら吸塵作業をする。 ⑥作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入り口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。</li> <li>吸い込み口を床に強く押しつけない。</li> <li>掃除機本体は手で持って移動する。</li> <li>プラグを持って抜く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミはシュレッターで裁断したものを50mℓ程度均等にまいてある。</li> <li>掃除機のコードを持って抜かない。</li> </ul>

点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの 取り残しがないか点検を 行い、あれば処置する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の 挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼 して退室する。	声を出すことが困難な 場合は一礼のみで 構いません。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機 を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を 行う。	「終わりました」等の 意思表示を行う。	作業終了を申告。声を 出すことが困難な場合は 挙手のみで構いません。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃（標準作業時間10分）

作業仕様1－1（課題2）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に必要な資機材はすでに作業カート上部に準備されている。（必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと）</li> <li>①モップ柄の長さを調整し、作業カートの所定の場所にセットする。</li> <li>②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着し、作業カート上部に置く。</li> <li>③①及び②は事前に準備する。</li> </ul>	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の 始めの合図で「始めます」と挨拶 を行い、競技を開始する。	片手をあげ、一礼する。	作業開始を申告。声を 出すことが困難な場合は 挙手のみで構いません。
作業準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。</li> <li>②所定の位置に作業標示板を立てる。</li> </ul>		
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって 入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼し て入室する。	声を出すことが困難な 場合は一礼のみで 構いません。

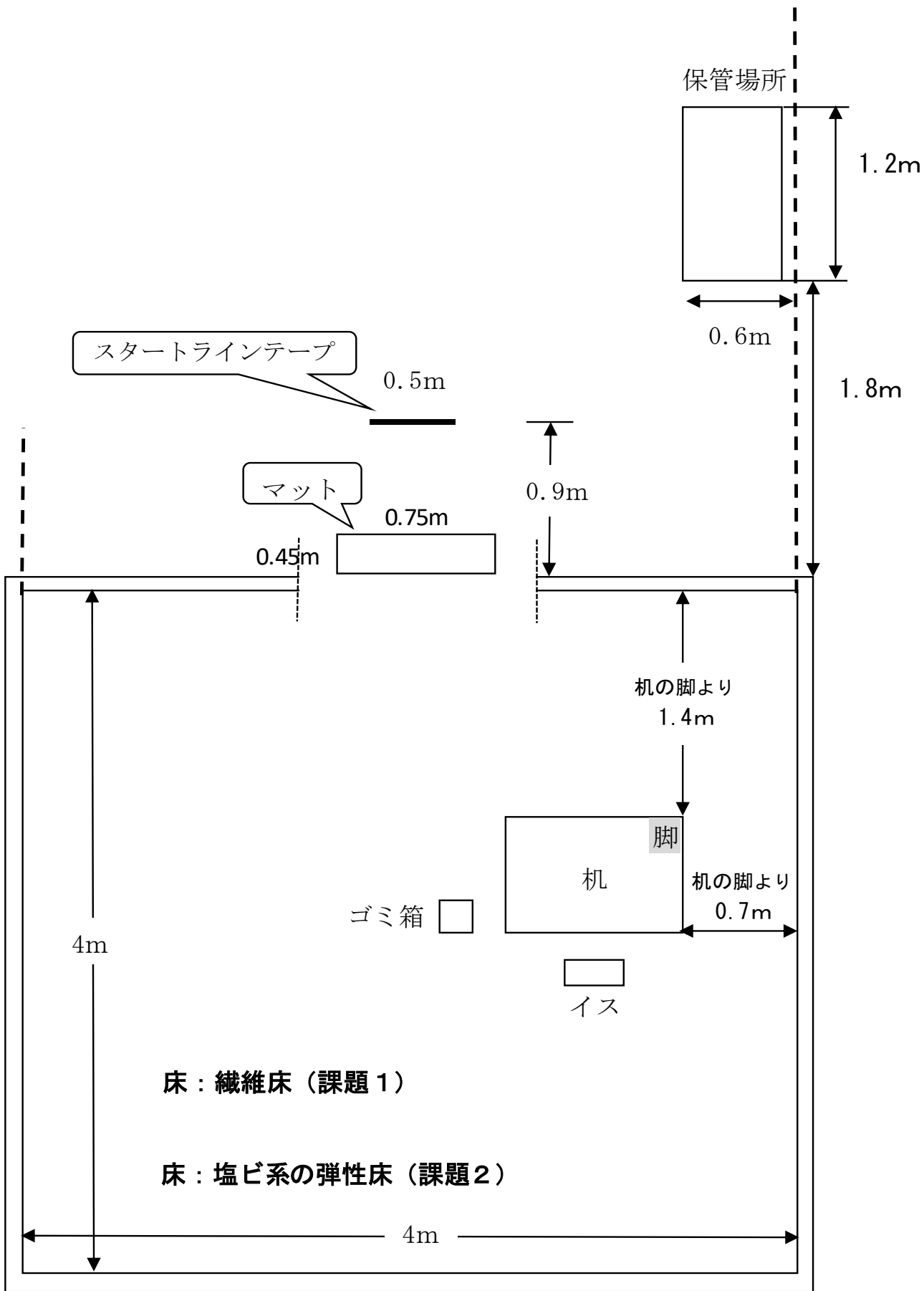
<p>イス上げと ゴミ処理</p> <p>(1) イスを上げる</p> <p>(2) ゴミ回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセ ット</p>	<p>①作業前にイスを机の上にあげる。</p> <p>②ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。</p> <p>③回収したビニール袋を作業カートの袋の中に入れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机の上に上げる。</p>	<p>・机は動かさない。</p> <p>・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>・ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。</p>	
<p>除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>①入り口の養生マットの上で乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。</p> <p>②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う（室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり）。</p> <p>③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。</p> <p>④ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、作業カートの袋の中に収納する。</p> <p>⑥柄とヘッドを作業カートに戻す。</p> <p>⑦小型ぼうきと文化ちり取りを使用し、集めたゴミを回収する。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小型ぼうき、文化ちり取りを作業カートに戻す。</p>	<p>・入り口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺は広い方を先行させる（赤印をつけてある）。</p> <p>・ヘッドを床から離さない。</p> <p>・使用済みクロスは作業カートの袋の中に入れる。</p> <p>・ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちり取りを使用して回収する。</p> <p>・ヘッドは、作業カート上部にスポンジ面を上にして、邪魔にならない場所に置く。</p>	<p>・ゴミはおがくずを50ml程度均等にまいてあ る。</p> <p>・点検の際に声を出さな いこと。</p>

作業仕様 1 - 2 (課題2)

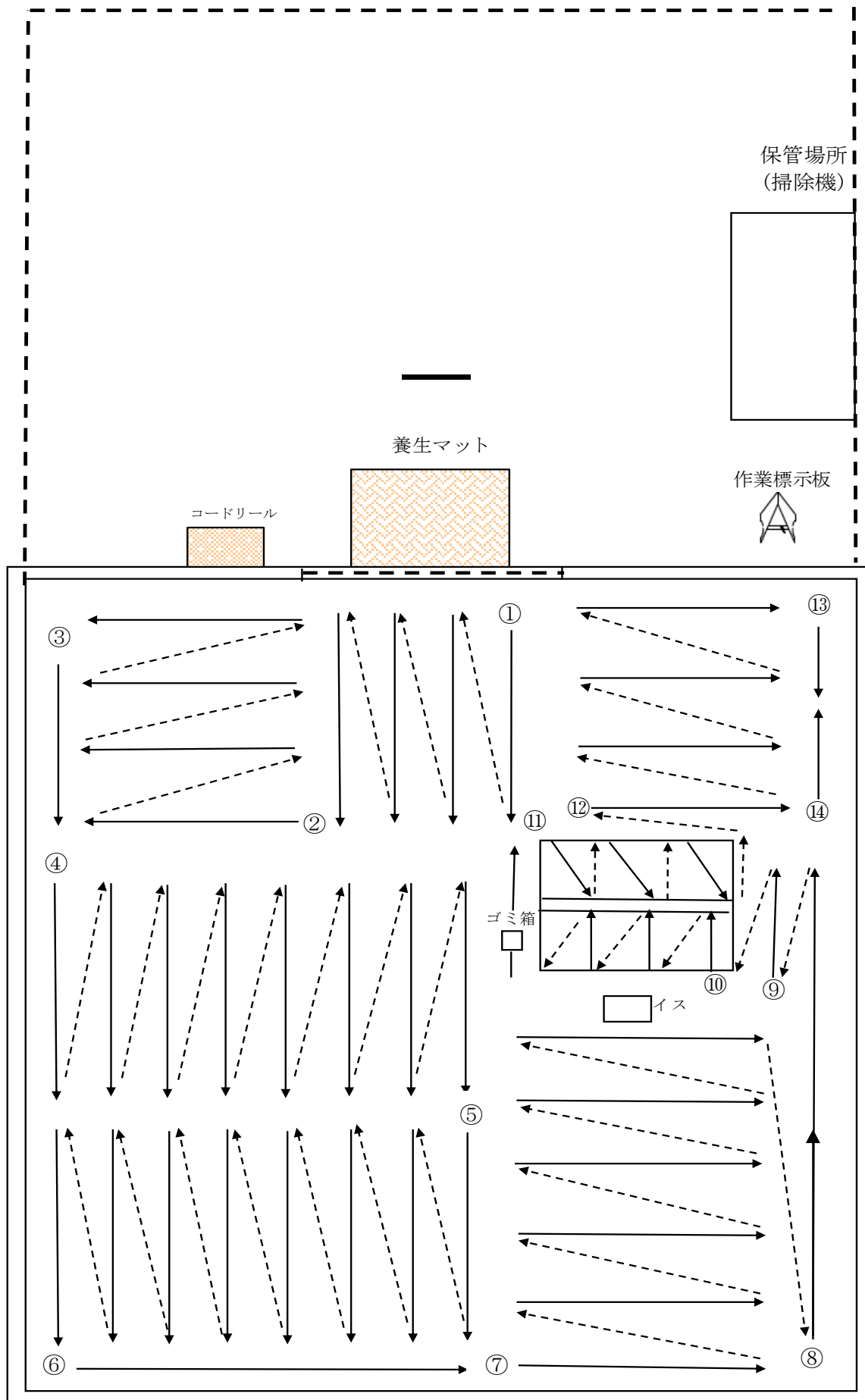
作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き作業 (モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く（室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり） ③コーナー周りと机の足元は房系に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・房系が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折りにして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様の手順で作業を行う。	タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 拭き残し、拭きむらのないようにする。	机上拭き作業手順参照。
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	声を出すことが困難な場合は一礼のみで構いません。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告。声を出すことが困難な場合は挙手のみで構いません。



標準配置図(モデル)



# カーペット床作業手順



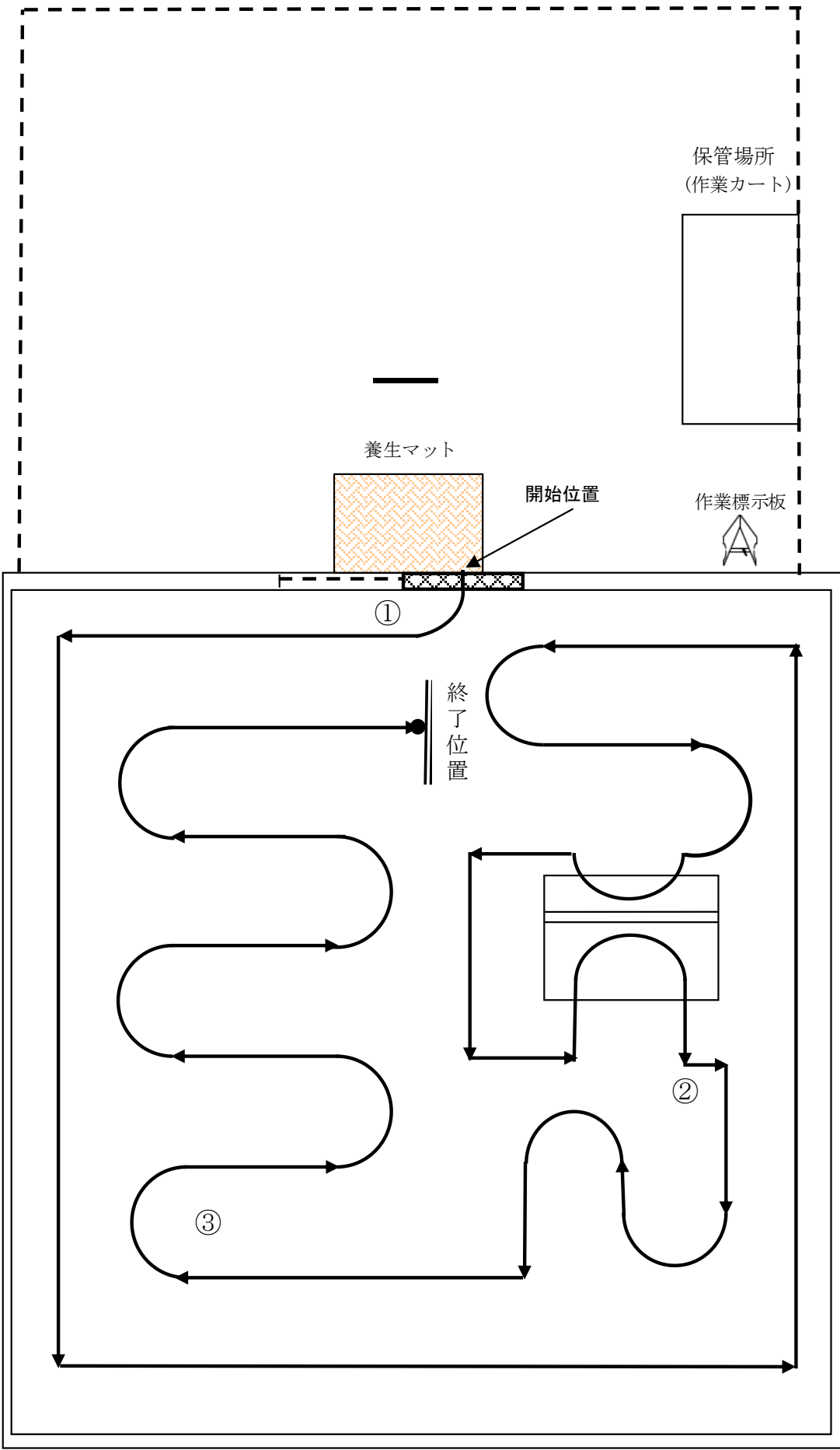
注：作業の進行①－⑭

吸引回数を入れたものではありません。

作業を一回の工程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

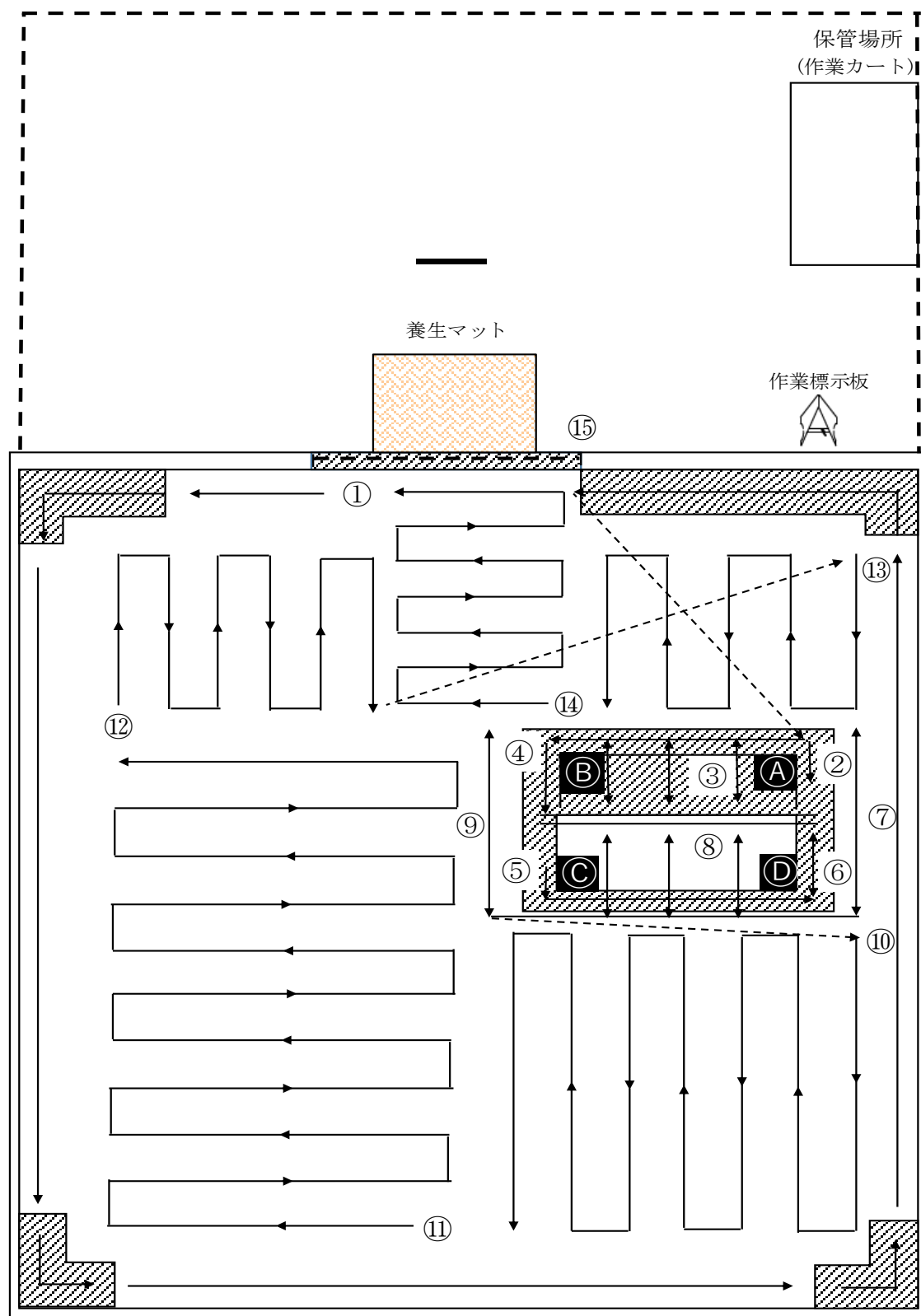
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

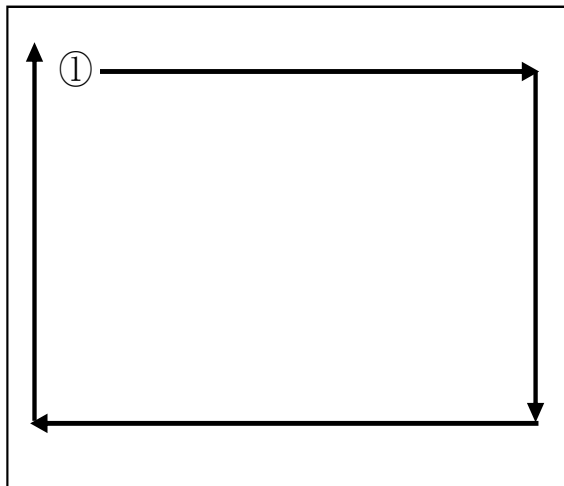
## 水拭きモップ作業手順



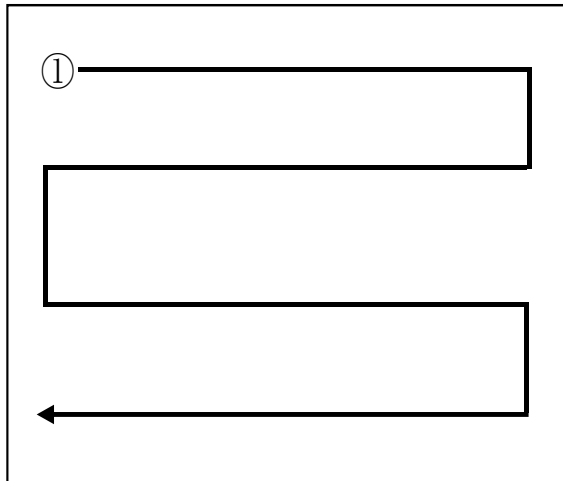
注： 印は手を添える箇所を示します。水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を一周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② ④の足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥ ④足、⑤足、⑥足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑧ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑨ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑩～⑭ スパンを決めて拭く
- ⑮ 入口を手を添えて拭く

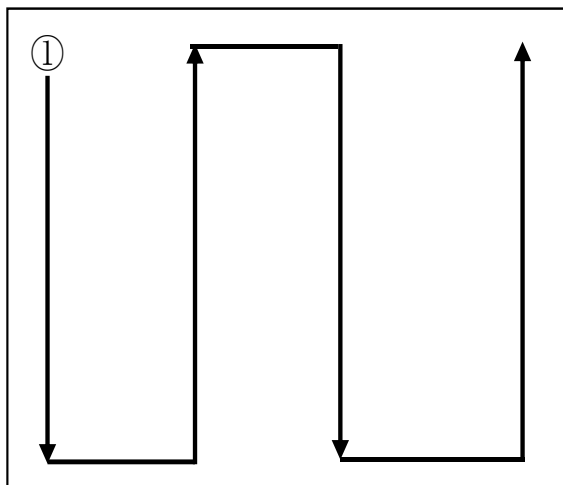
## 机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。  
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。  
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④乾拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆にしても構いません。